

1 次の各文の〔 〕内から、正しいことばを選び、解答らん(解答欄)に書きなさい。

- (1) 1333年、〔後醍醐天皇 聖武天皇〕は武士の力を借りて、幕府をほろぼしました。
- (2) 1338年、①〔足利義満 足利尊氏〕は征夷大將軍に任じられ、②〔京都 鎌倉〕に幕府を開きました。
- (3) 3代將軍〔足利義政 足利義満〕のとき、幕府の力は最も強くなりました。
- (4) 国ごとにおかれた〔守護 地頭〕は力をつけ、大名とよばれるようになりました。
- (5) 8代將軍〔足利義満 足利義政〕のとき、応仁の乱が起こりました。

(1)	後醍醐天皇
(2)	① 足利尊氏
	② 京都
(3)	足利義満
(4)	守護
(5)	足利義政

- (1) 後醍醐天皇は、このち、天皇中心の政治を行おうとしましたが、武士の反感を買い、奈良県の吉野(吉野)ににげて、別の朝廷をたてました。
- (2) 足利氏は、のちに京都の室町(室町)というところにやしきをたてて政治を行ったので、足利氏の幕府を室町幕府とよびます。
- (3) 足利義満は、のちに京都の東山(東山)に書院造(書院造)の建物を建てました。
- (4) 守護は、源頼朝(源頼朝)によって国ごとにおかれた役職で、御家人が任命(任命)されていました。室町幕府もこのしくみを引きつぎました。
- (5) 応仁の乱は、足利義政のあとつぎ争いと、大名の対立(大名の対立)がからんで10年以上も続きました。

2 次の文章中の〔 〕にあてはまることばを、あとのア～キから1つずつ選び、記号で答えなさい。

3代將軍 (①) は、京都の北山に (②) を建てました。
 8代將軍 (③) は、京都の東山に (④) を建てました。
 ④には、現在の和室のもととなった (⑤) という建築様式が取り入れられています。

①	ウ
②	エ
③	ア
④	オ
⑤	キ

- ア 足利義政 イ 足利尊氏 ウ 足利義満
 エ 金閣 オ 銀閣 カ 寢殿造 キ 書院造

金閣は3階建てで、1階は寢殿造、2階は武家造風、3階は仏をまつお堂です。貴族の文化と武士の文化が合わさっています。銀閣は2階建てで、1階は書院造、2階は仏をまつお堂です。

3 次の①～④の文が、室町時代の文化について述べているなら○、そうでないなら×を、それぞれ書きなさい。

- ① かな文字を用いて『源氏物語』が書かれた。
 ② 雪舟がすみ絵を芸術として大成した。
 ③ 日本の歴史を記した『日本書紀』が完成した。
 ④ 世阿弥が能を芸術として大成した。

①	×
②	○
③	×
④	○

①は平安時代、③は奈良時代の文化です。

